

麻生菊花会勉強会及び講習会

◇ 花の整理とお礼肥

- 花が少し痛んできたら早めに切り取り、輪台、インバイトや支柱を外して、来年の親株としないものは整理し、3本立の親株は立ち上がり15~20cmの所、ドーム菊はリングの位置で枝を切り、お礼肥（乾燥肥料8・9号鉢当たり大匙山3杯、7号鉢大匙山2杯）を与えます。



[冬至芽が出ていない親株✖]



[親株元の冬至芽✖]



[鉢縁近い冬至芽○]



[鉢縁近い冬至芽○]

◇ 親株の植え替え

- 5号鉢の親株は根詰まりしていますので7号鉢に植え替え深植えします。冬至芽が出ていない親株は、私は処分しています。

◇ 置き場所及び越冬

- 置き場所は、日当たりの良い霜や雪などを防げる縁台の下・軒下等、丈夫な挿し穂を採る為1度強い霜に当ててから軒下に取り込みます。
- 夜は、段ボールなどで囲ってやる。

◇ 冬至芽の株分け

- 親株は、鉢植えのまま越冬させた方が管理が楽ですが、場所がない場合は、鉢縁近くの冬至芽を鉢上げします。
- (7号鉢に3本乾燥肥料大匙3杯)(5号鉢には1本乾燥肥料小さじ3杯)冬至芽の鉢上げは発泡スチロール箱か素焼鉢を使った方が理想です。



[スプレー菊6号鉢へ株分け]

◇ 株元の冬至芽切り

- 親株の株元の冬至芽は親株の病気を避けるため親株から出来るだけ離れている苗を選びます。また長く伸び過ぎている苗は、活着が遅いのでこれも避けます。親株の冬至芽が鉢縁から出てきたものを使います。株元の冬至芽は切り取ります。

◇ 病虫害防除

- 病気はこの時期発生はしないが、アブラムシの防除は必ず行う事。(日光によく当て風通し良くし、予防防除に努めます。)

◇ 水遣り

- 表面の土が白く乾燥したら灌水する。(1週間に1回位、晴れた日の午前中にやる)

◇ 肥料

- 1か月位つぼみを付けて置き、薄い液肥を週1回位与えてやると、年末迄には冬至芽が伸び出してくる。
- 1ヶ月に1回小さじ1乾燥肥料3月迄やる。

◇ 摘芯

- 2月末～3月上旬になると沢山の冬至芽が出てきますので摘芯します。そして苗が混んでいるところを間引きしすっきりさせます。摘芯したところから新しい新芽が出ます。その穂を挿し芽(4～5月頃に)として使います。

以上

(松井)